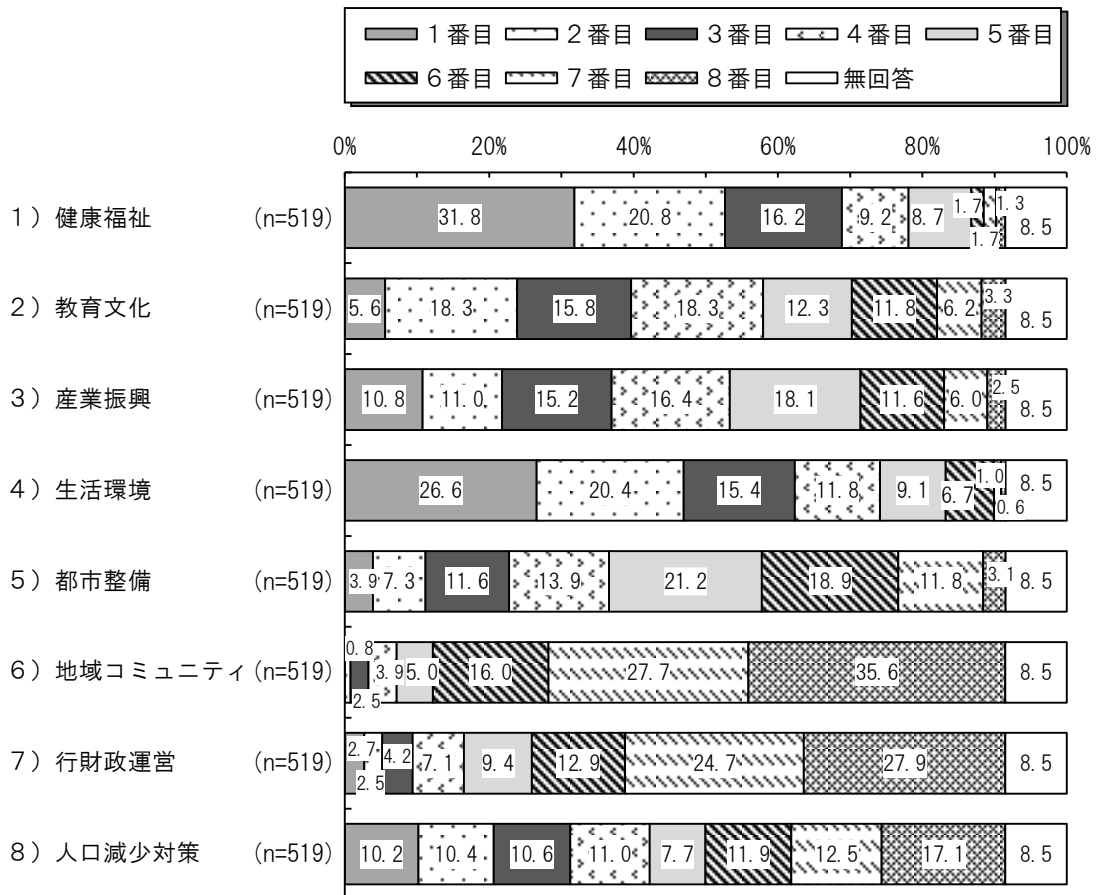


viii 今後のまちづくりについて

35 これからの注力分野

【問24】まちづくりで取り組むべき分野の優先度について、どのようにお考えになりますか。力を入れるべき優先順に1番から8番まで記入してください。

これからの注力分野は、「健康福祉」が最も多く1番目に選ばれている。

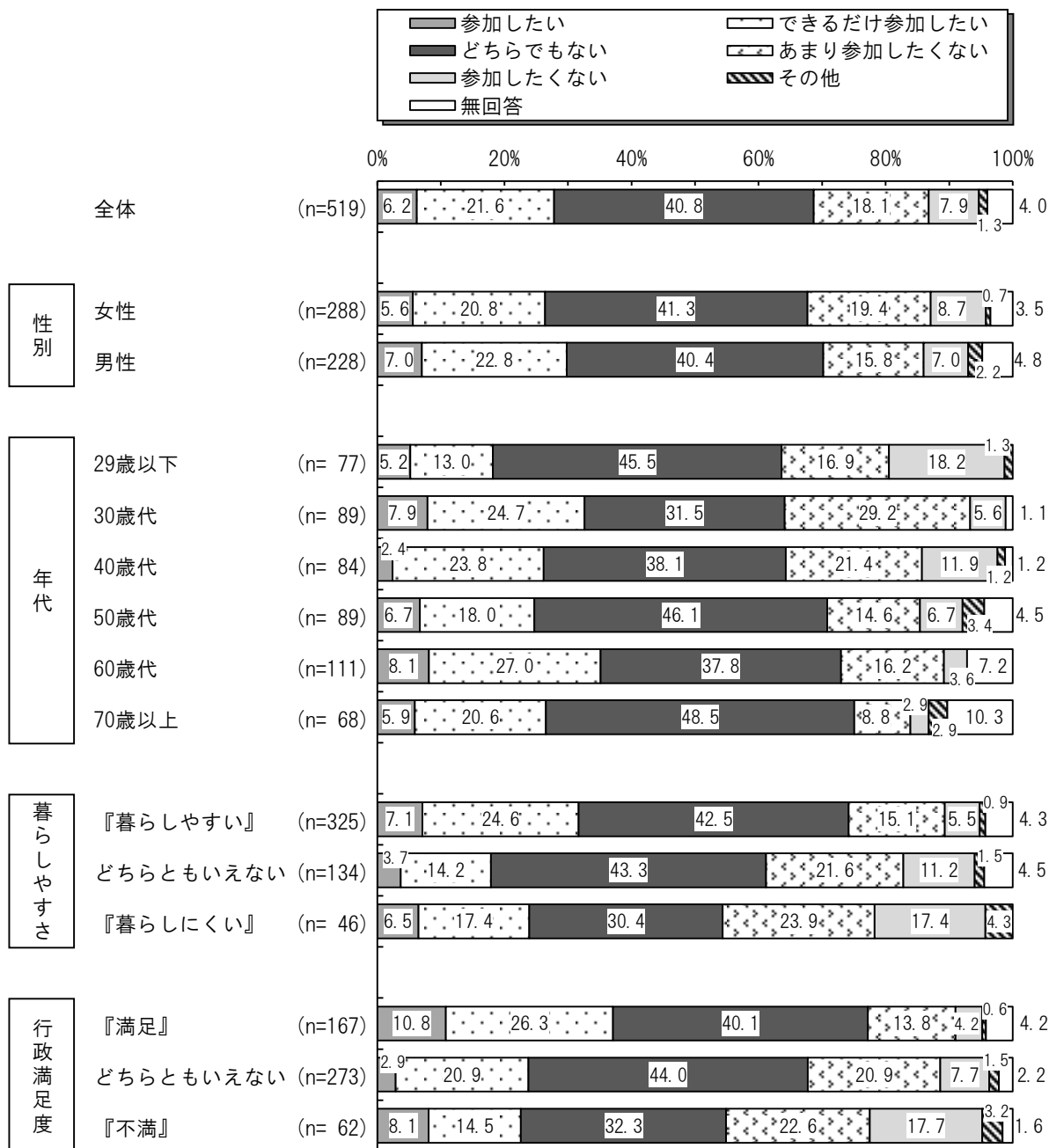


※0.0%非表示

36 まちづくりに対する市民参加の機会がある場合の参加意向

【問25】まちづくりに対する市民参加の機会がある場合、参加したいと思いますか。（〇は1つ）

まちづくりに対する市民参加の機会がある場合の参加意向は、「どちらでもない」が40.8%と最も多く、次いで「できるだけ参加したい」が21.6%、「あまり参加したくない」が18.1%などとなっている。

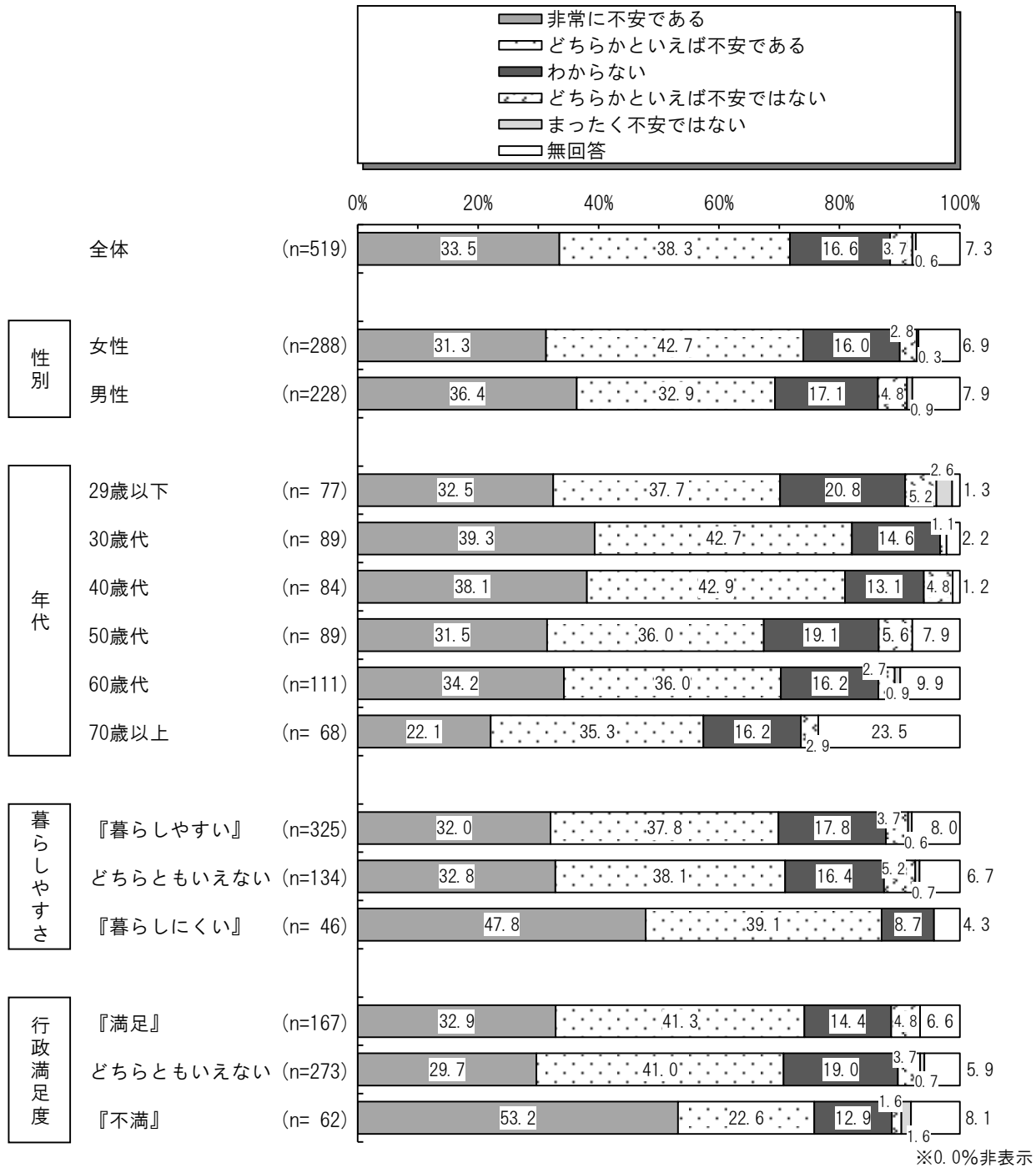


※0.0%非表示

37 岡谷市の人口減少に対する考え

【問26】 岡谷市の人口は46,620人（7/1現在）ですが、国の推計によると2060年には約29,000人まで減少し、少子高齢化がさらに進行することで、税収の減少や一人当たり社会保障費の増大など、自治体の行政運営や市民の生活にも様々な影響が出ると考えられます。人口減少に対するお考えを教えてください。（〇は1つ）

岡谷市の人口減少に対する考えは、「どちらかといえば不安である」が38.3%と最も多く、次いで「非常に不安である」が33.5%、「わからない」が16.6%などとなっている。



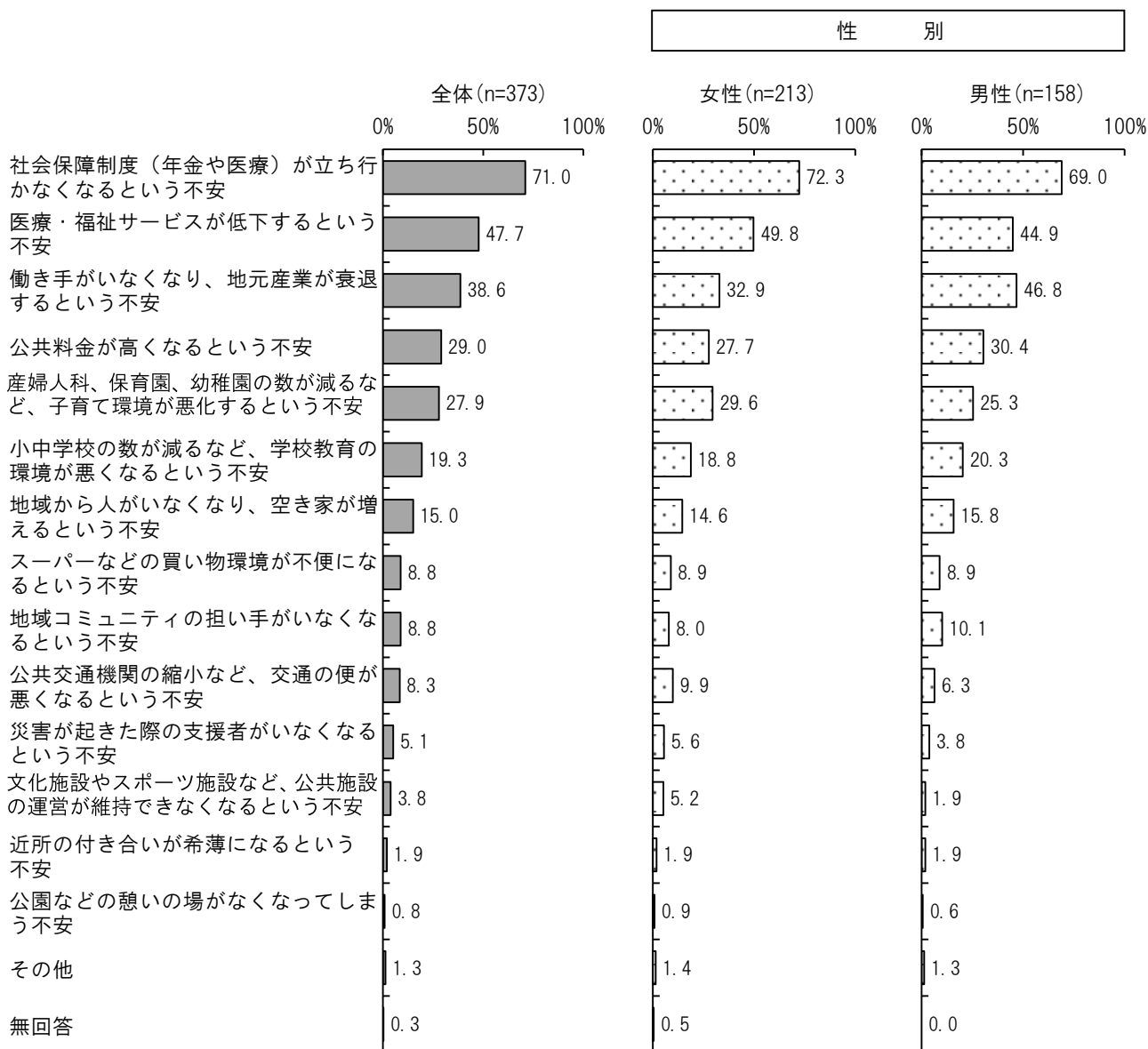
38 人口減少に対して不安に思う理由

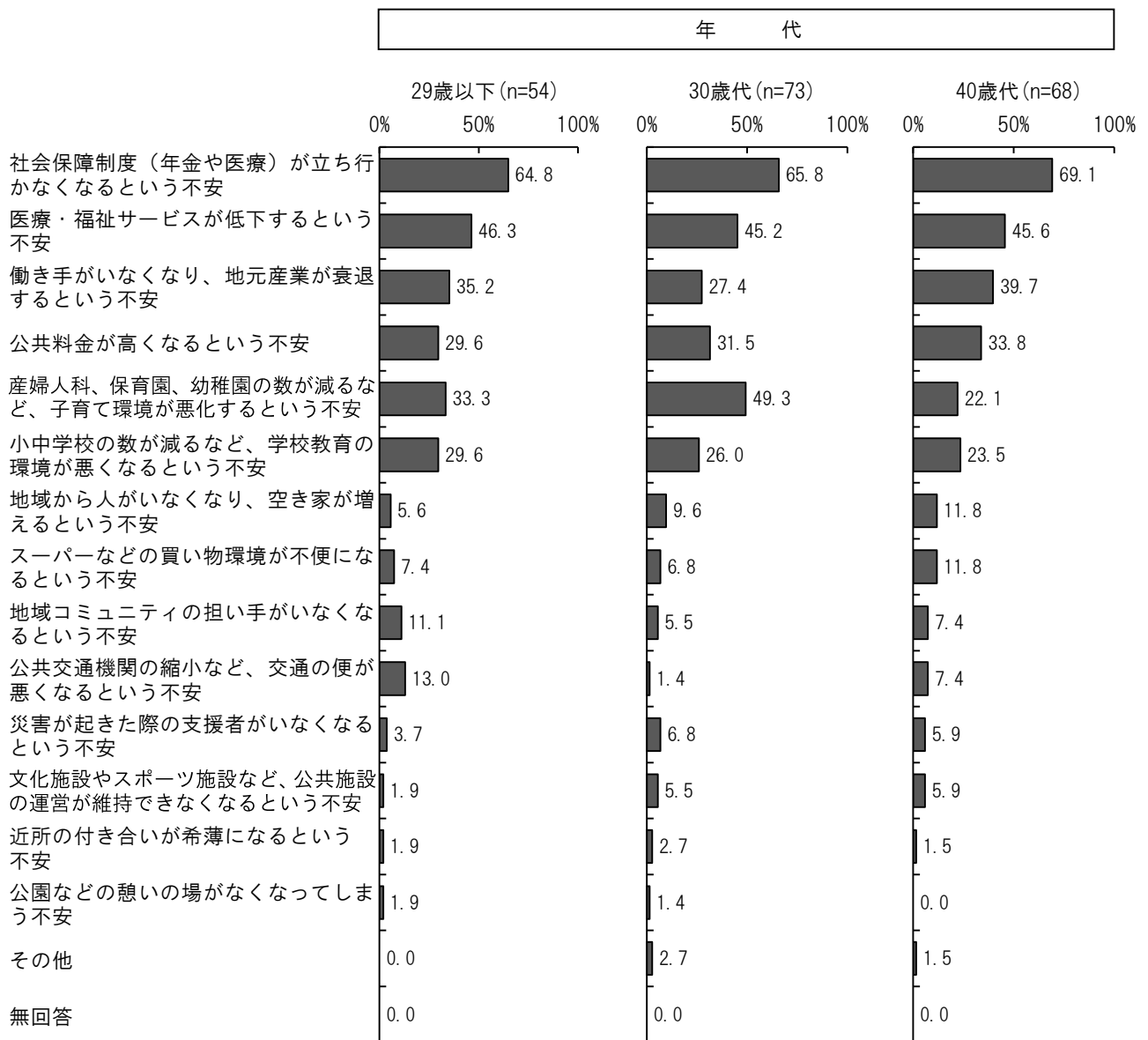
《問26で「非常に不安である」「どちらかといえば不安である」を選んだ方》

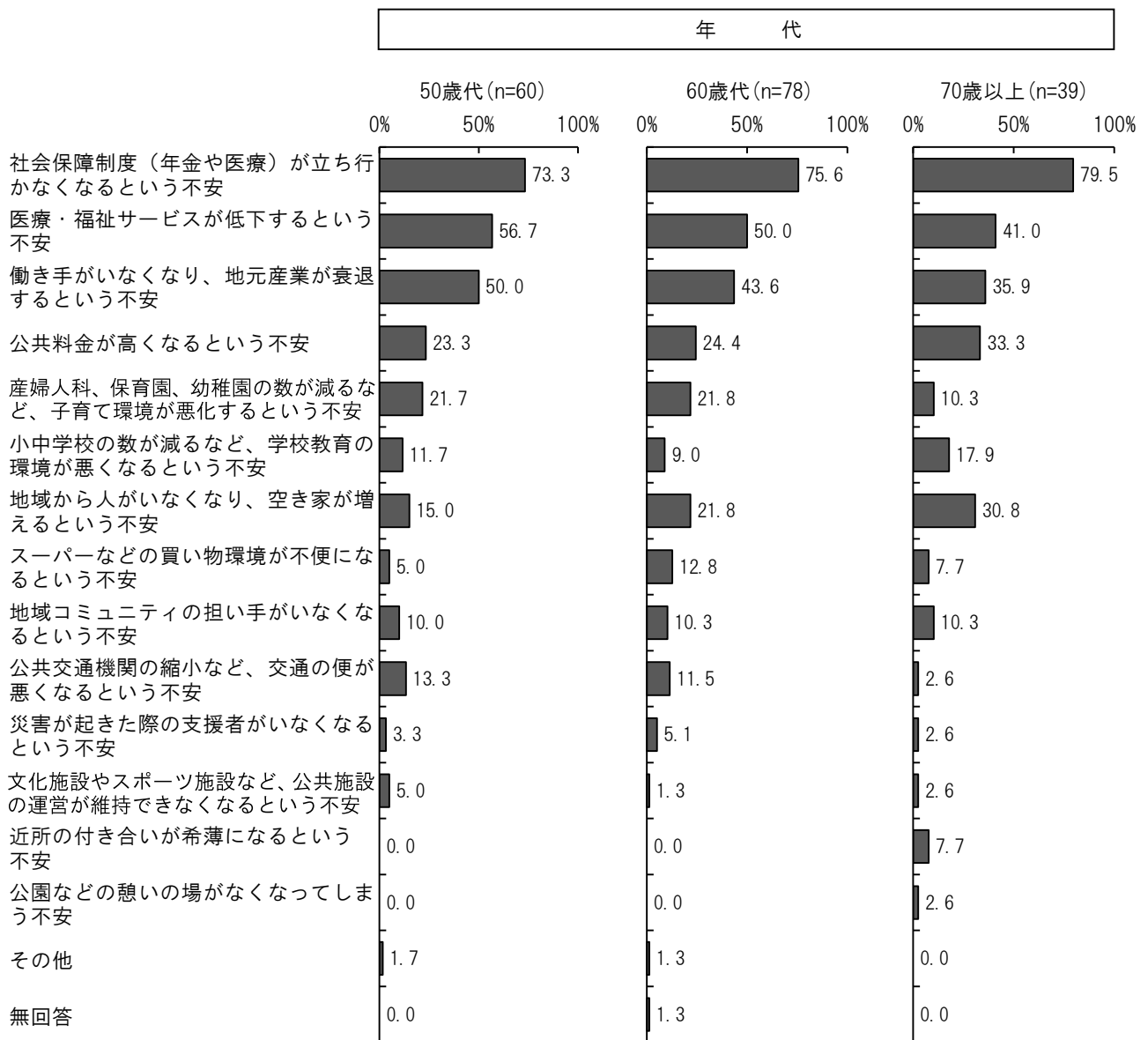
【問26-1】 そのように思う主な理由は何ですか。

(○は3つまで)

人口減少に対して不安に思う理由は、「社会保障制度（年金や医療）が立ち行かなくなるという不安」が71.0%と最も多く、次いで「医療・福祉サービスが低下するという不安」が47.7%、「働き手がいなくなり、地元産業が衰退するという不安」が38.6%などとなっている。





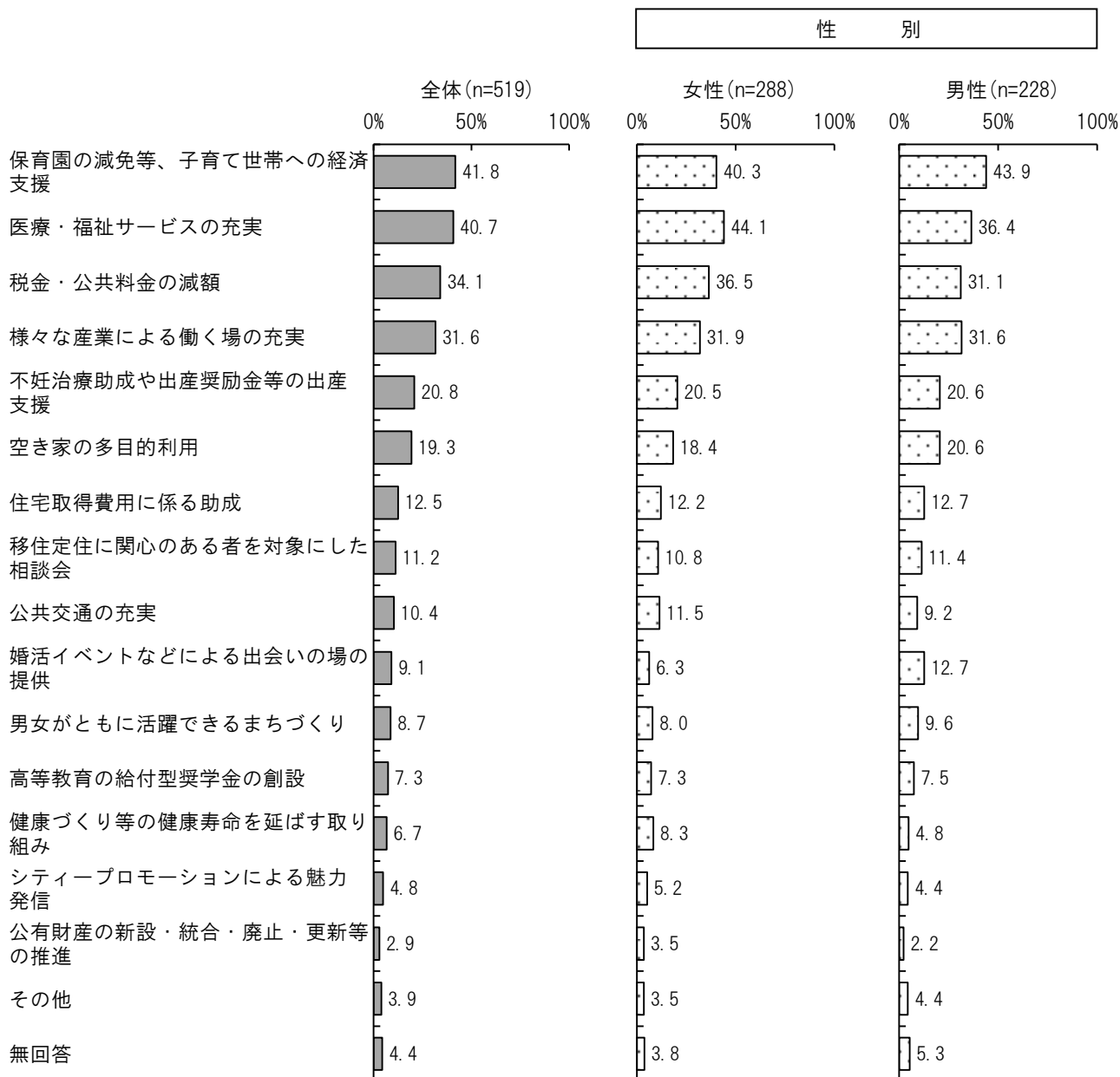


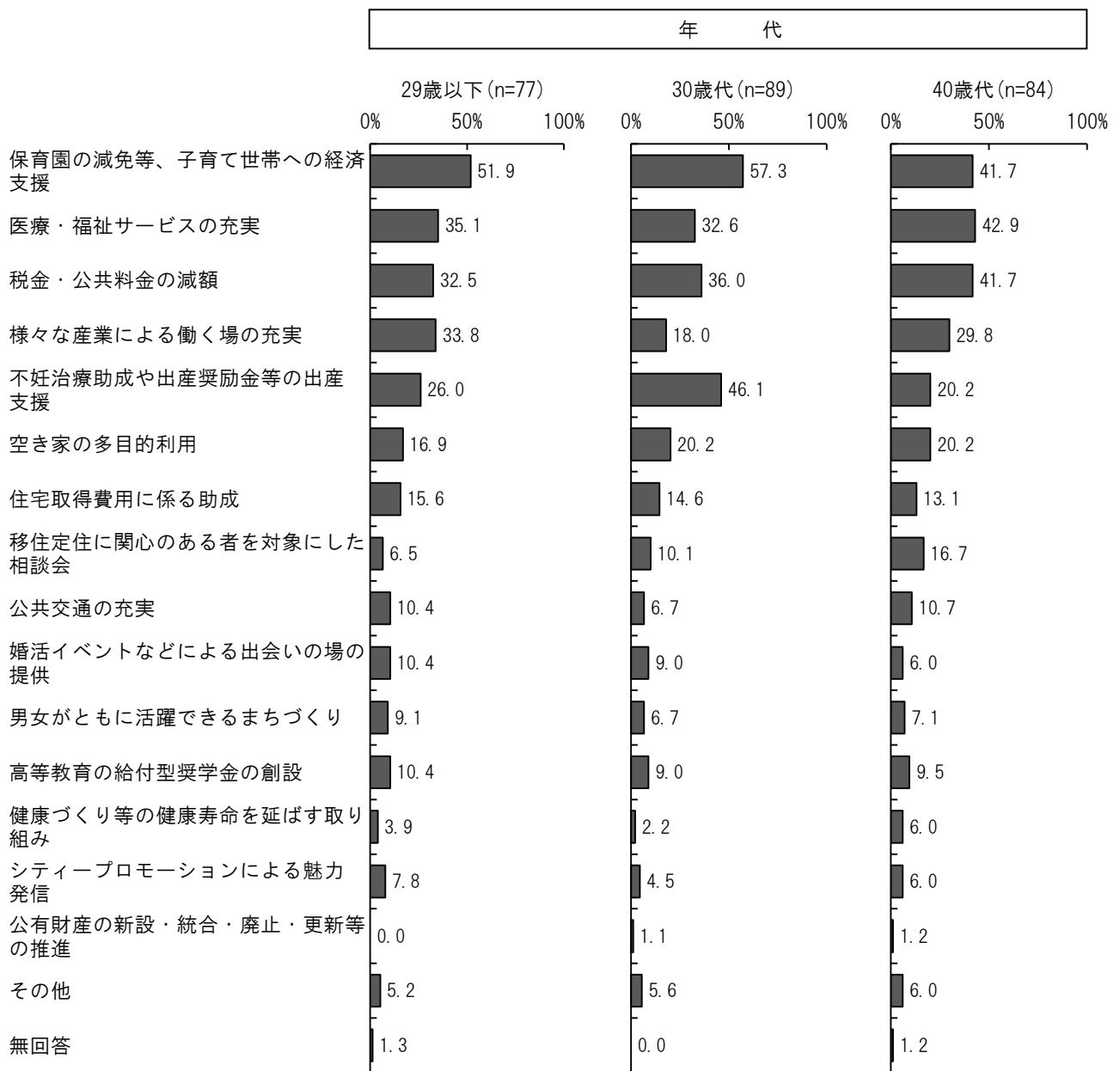
39 人口減少対策について力を入れるべきこと

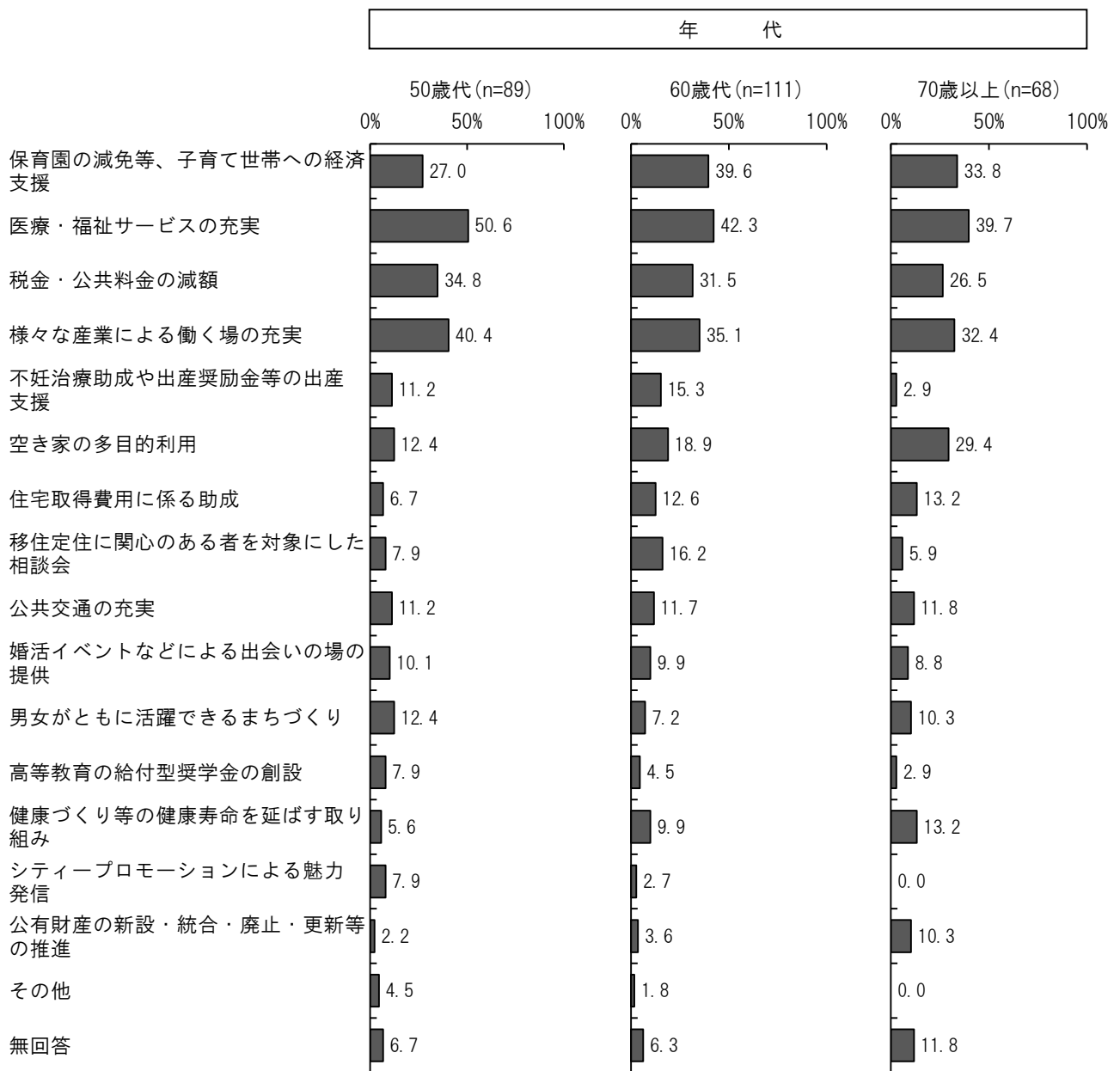
【問27】 岡谷市は人口減少対策について、どのようなことに力を入れるべきですか？

(○は3つまで)

人口減少対策について力を入れるべきことは、「保育園の減免等、子育て世帯への経済支援」が41.8%と最も多く、次いで「医療・福祉サービスの充実」が40.7%、「税金・公共料金の減額」が34.1%などとなっている。





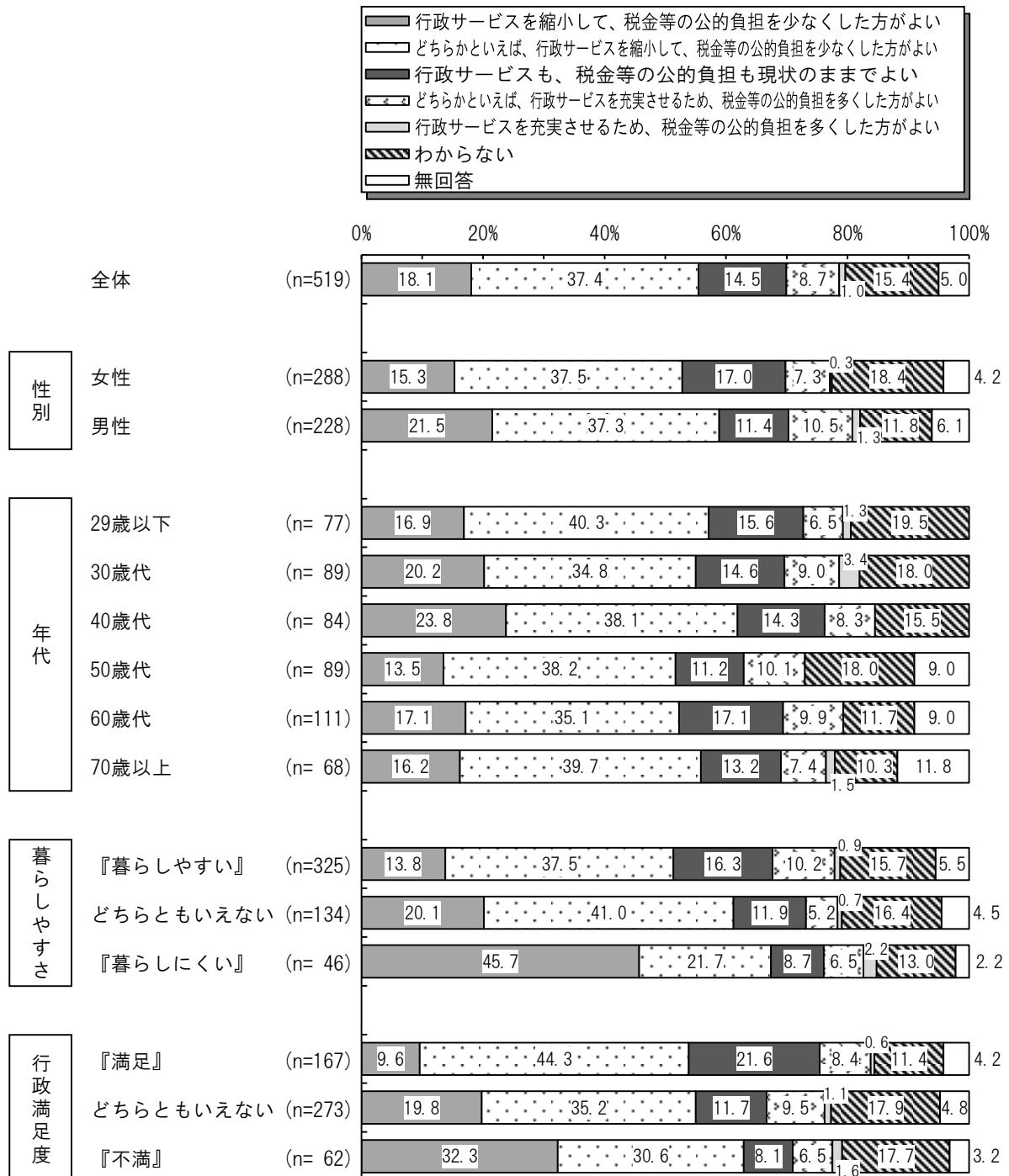


40 行政サービスと市民負担との関係

【問28】人口減少や少子高齢化により、地方自治体を取り巻く財政状況はいつそう厳しくなり、これからのまちづくりは限られた財源をより効果的に配分・活用していく必要があります。このような中で今後の行政サービスのあり方について、どのように考えますか？

(1つに○)

行政サービスと市民負担との関係は、「どちらかといえば、行政サービスを縮小して、税金等の公的負担を少なくした方がよい」が37.4%と最も多く、次いで「行政サービスを縮小して、税金等の公的負担を少なくした方がよい」が18.1%、「わからない」が15.4%などとなっている。



※0.0%非表示

41 行財政改革における優先的事項

【問29】財源を捻出する上で行財政改革も平行して行っていく必要がありますが、岡谷市が優先的に行うべき項目はどのようなことですか？ (○は3つまで)

行財政改革における優先的事項は、「各団体への助成金・補助金の見直しや減額」が34.1%と最も多く、次いで「公共施設の運営等、積極的な民間への業務委託」が28.5%、「周辺市町村との連携による事業の共同実施」が27.9%などとなっている。

